



住吉池湖畔「憩いの森」里山整備 PART II

	助成区分	植栽	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙
実施状況	参加者数 参加者満足度	延82人 100%	活動の全体目標に 対する達成度		100%

課題

住吉池湖畔は、蔓が群生しており、県民が憩える森づくりとしては、植栽した樹木の健全育成のためにも、今後も徹底した下刈とつる枯殺作業が必要である。

活動内容

県民・市民が「憩える森」を目指して、下記のとおり住吉池湖畔整備を実施。

- ①下刈、蔓枯殺作業
(刈払機や手鎌での下草刈り、蔓の根株に直接灯油をかけて枯らす蔓枯殺作業を平成29年6月と9月に実施)
- ②施肥作業
(植栽しているサクラ・モミジの成長を促すため、森林肥料の施肥作業を平成29年4月に実施)
- ③樹名板の作成・設置
(間伐材を利用したサクラ・モミジの樹名板を作成し設置)
- ④ベンチの作成・設置
(防腐剤を注入したベンチを2基作成、贈呈先として貴ファンド名を明記し、展望台へ設置)

成果

鹿児島市内より20km程に位置する当公園は、県民が夏のキャンプはもとより森林散策や園内の湖で釣りを楽しむ等、保養・観光を目的とした憩いの公園である。貴ファンド助成金を活用して、四季を彩る広葉樹を植栽し、手入れをさせていただいたことで、樹々の健全な成長とともに、湖畔に映える鮮やかな四季折々(春はサクラ、秋はモミジ)の風景を楽しむ事ができるようになった。今後「憩いの森」としてより多くの県民・市民の利用が期待される。

工夫した点

県民が森林の中で憩いながら、より自然や森林の大切さを体感できるよう、樹名板や木製ベンチを設置した。湖畔に映える鮮やかな四季折々の風景を楽しみながら、心癒されるような、保健休養にも効果をもたらすような森林空間づくりに努めた。

今後の課題

新たな自然体験型イベント、森林環境教育プログラム等の実施による来園者の誘致。
植栽木の今後の健全保育のための継続整備作業。